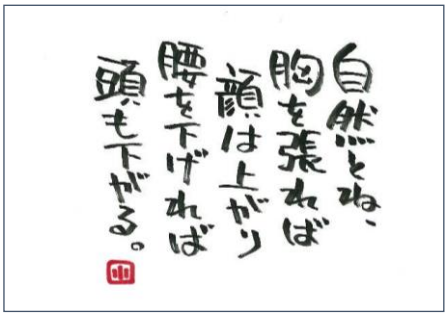
## 「志は高く、頭は低く、実践は足元から」




私には、30 数年経った今も大切にしている言葉があります。それは、私が初めて勤めた中学校の先生から教えていただいた言葉で、「志は高く、頭は低く、実践は足元から」というものです。

「人間はどのような生き方をするかが大事です。人生には確かな生きる指針が必要です」という、先生の強い言葉が今も心に残っています。「志」とは、心の指す方向であり、理想や目標のことです。「頭は低く」とは、心の姿勢であり、何事にも謙虚な心を持って臨むことが大切だという意味です。わからないことは「どうか教えてください」と遜（へりくだ）って人に聞く姿勢です。私の理想は、「自分のことより他人のことを優先する」、「自利より他利を図る生き方をする」ことです。同時に、本校の目標でもある「しつけの三原則」（挨拶、返事、履き物を揃える）という身近なことにも率先して取り組んでいきたいと思います。

## 「いただきます」（食事）　感謝の気持ちを挨拶に！

食物は、生命を維持するために必要不可欠なものです。普段、何気なく口にする一つ一つが、大自然の力や人の手を通して形となったものです。日本の主食である米は、土作りから種まき、田植え、稲刈り、精米と長い月日に渡り手間を惜しまず育て上げられています。米は、神事のお供え物として、また様々な儀式や行事などとも関わりの深い存在です。

食事の際に挨拶する「いただきます」の「いただき」とは、頭上に乗せる意味を表わした言葉です。神仏に供えた物を飲食する際や、上位の者から物をもらう際に、頂に掲げたことから、使われるようになったと言われています。そこには、感謝の意味が込められているのです。私たちは、日々の食事にどれだけ感謝の気持ちを持っているでしょうか。学校の給食は、配膳や時間に気を取られて、感謝の気持ちが薄れていないでしょうか。

私たちは、日々の食事なくしては生きることはできません。豊かに実った穀物に感謝の心を向けて、食事をいただく習慣を身につけたいものです。